

題 名 那覇港湾整備の事業評価について

那覇港湾・空港整備事務所<sup>さき まとし お</sup>  
第一工務課長 氏名 ◎崎間敏男<sup>さき まとし お</sup>  
第一工務係長 氏名 ○名嘉康行<sup>なにか やしひろ</sup>

1. 目的

那覇港における港湾投資の効率的、公平かつ公正な遂行にあたり、社会的、経済的な観点から、投資の妥当性を判断するために実施する。

評価実施においては、有識者から構成される監視委員会を公開方式において実施するとともに、評価結果を国土交通省ホームページ、沖縄総合事務局ホームページにて公表し、国民及び県民に対するアカウンタビリティを向上する。

2. 内容

平成 23 年度事業評価対象の那覇港新港ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業、那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整備事業及び那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業の 3 事業について、それぞれ事後評価、事業再評価を実施し、事業効果を計測するとともに、今後の事業内容について精査を行った。

具体的には、公認されたマニュアル（港湾投資の評価に関する解説書 2 0 1 1）に従い各事業の便益を算出し、各事業費に対する効果（B／C）を計測した。

便益算出プロセス、効果計測結果は、有識者から構成される監視委員会において、妥当性を確認し、事業継続の可否等を決定した。



旅客船ターミナル利用・整備状況



国際海上コンテナターミナル利用状況

3. 結論

那覇港新港ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業の事後評価結果において、一定の事業効果を確認するとともに、那覇港泊ふ頭地区旅客船ターミナル整備事業及び那覇港浦添ふ頭地区国内物流ターミナル整備事業の再評価結果において、事業継続の妥当性を有識者からなる監視委員会の審議を踏まえ確認した。

4. 今後の問題点

監視委員会の有識者より便益を貨幣換算する際に使用する単価（原単位）等の解説について、一般的市民に解りやすく説明することが求められた。また、事後評価においては、評価後も事業効果が向上するよう取り組むことを求められた。

今後は、事業評価のプロセス、結果を一般市民に解りやすく説明する工夫を行うとともに、事業評価結果を当該事業効果の更なる発現に繋げるよう取り組む。